

(仮称) 津波防災部会の設置について

1. 概要

令和8年度より実施予定の津波避難行動シミュレーションにおいて、解析手法や付与条件等を検討するため、仙台市防災会議に「(仮称) 津波防災部会」を設置する。

2. 津波避難行動シミュレーションについて

令和4年5月に宮城県が公表した津波浸水想定により、新たに避難が必要となった津波避難エリアを含む市内全域の津波浸水想定区域について、避難に関する時間等を検証し、避難行動や津波避難施設の確保に関する考え方を整理するとともに、本市の津波避難に係る課題の対応策を検討するもの（詳細は別紙）。

3. 検討体制

「仙台市防災会議条例」第4条に基づき、防災会議に学識経験等のある専門委員を置くとともに、同条例第6条に基づき、会長が指名する委員及び専門委員から構成する部会を設置の上、各種検討を進める。

4. 検討項目（案）

- 避難シナリオ、対象範囲、避難者数、避難移動等の解析条件について
- 避難行動、津波避難施設の確保について
- 車避難のあり方について
- 津波避難行動シミュレーション（案）について

5. 検討スケジュール（案）

シミュレーションの実施にあたっては、委託業者決定後、令和8年度内を目途に部会による検討項目の整理や解析等を進め、令和9年度に結果をとりまとめることとする。

6. その他

当該シミュレーション実施にあたっては、東北大学災害科学国際研究所等と連携の上、業務委託により検討を進めるほか、平成24年度に実施した「津波避難施設整備に関わる避難行動シミュレーション」との整合性も図りながら実施していくものとする。